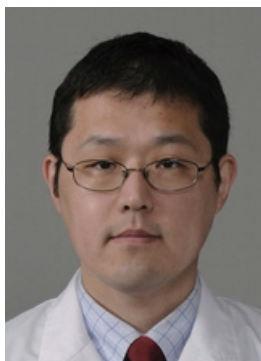


# 疾病診断への応用を目的とした 新しい蛍光色素の開発



## 研究キーワード

蛍光色素、診断薬、検出試薬、薬剤

工学部 ナノサイエンス学科  
水城 圭司 助教

生き物の体を構成する生体分子はその一つ一つが何らかの重要な役割を担っており、その役割を解明するためには、その分子を認識・検出することが重要となってきます。様々な検出法が開発される中、蛍光色素を利用した検出は、低コストで高感度な検出手法として、バイオ分野や病気の検査など多岐にわたって利用されています。これまでにない特性をもつ蛍光色素を開発し、バイオ分野や病気の検査などへの利用を目指しています。

## この研究は将来どんなことに役立ちますか？

がんなどの様々な病気の早期発見に役立ちます。